

2020年

中部470級ヨット選手権大会 兼 中部スナイブ級ヨット選手権大会帆走指示書

1. 規則

1-1 本大会は、「セーリング競技規則2017-2020」(以下RRS)に定義された規則を適用する。

2. 競技者への通告

競技者に対する通告は、LINEオープンチャットにて展開する。

3. 帆走指示書の変更

- 3-1 帆走指示書の変更は、それが発効する当日のスタート予告信号時刻の60分前までに展開される。
- 3-2 レース日程の変更は、レース当日の8:30までに展開される。

4. 陸上で発する信号

- 4-1 陸上で発せられる信号は、管理室前のポールに掲げられる。
- 4-2 回答旗が陸上で掲揚された場合、レース信号『回答旗』の中の「1分」を「30分以降」と置き換える。

5. 日程

- 5-1 レース日程

10月3日(土)	9:55	470級 第1レースのスタート予告信号時刻 引続き レース(海上にて指示)
10月4日(日)	9:55	470級 その日最初のスタート予告信号時刻 引続き レース(海上にて指示)
	16:00	閉会式・表彰式 西棟管理室前@海陽ヨットハーバー

天候その他の事情により競技日程はレース委員会の裁量で変更することがある。
- 5-2 スナイブクラスのスタート時刻は、470クラスの7分後とする。
- 5-3 本大会は各クラス最大6レースを予定している。1日に実施するレース数は最大3レースとする。
尚、10月4日(日)は15:00を越えて予告信号は発せられない。
- 5-4 その日最初のレース以降の予告信号は、前のレースが終了次第 引続き適宜発せられる。
- 5-5 レース(一連のレース)が始まる事の注意喚起として予告信号の5分以前に、音響信号1声と共にオレンジ旗をスタート信号艇に掲揚し競技者に通知する。
- 5-6 閉会式と表彰式は行わない。また、レース結果はLINEおよび愛知県ヨット連盟ホームページに公開する。

6. クラス旗

470クラス・・・470旗(白地に470の文字)
スナイブクラス・・・スナイブ旗(白地に赤のシギ)

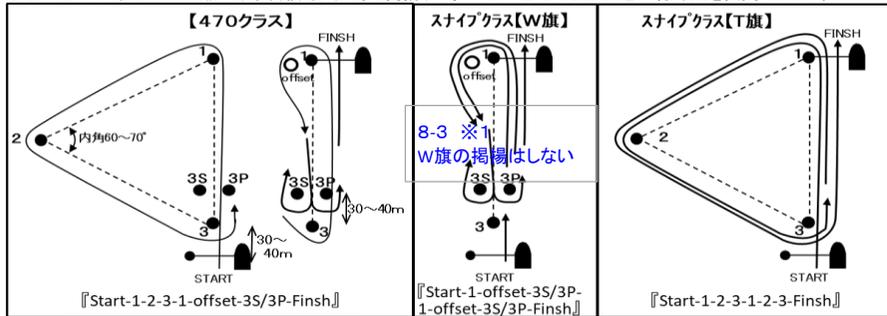
7. レース・エリア

豊田自動織機 海陽ヨットハーバー沖

8. コース

470クラス:トライアングル風上-風下コース スナイブクラス:クラスルールを適用する。

- 8-1 下図に各レグ間の概ねの角度、通過すべきマークの順序、及び各マークを通過する側を含むコースを示す。
- 8-2 最初のレグのおおよそのコンパス方位を、予告信号以前に、スタート信号艇に掲示する。
- 8-3 スナイブクラスのコース旗は、予告信号と同時に掲揚する。(※1) これはSCIRA運用規則8.2を変更している。



9. マーク

- 9-1 マーク1, 2, 3はオレンジ色の円筒形パイとする。スナイブ級off-setは黄色小型円筒形パイとする。
- 9-2 指示11に規定する新しいマークは、赤色の円筒形パイとする。
- 9-3 スタート・アウターマーク及びゲートマークは白色の小型円筒形パイとする。

10. スタート

- 10-1 レースはRRS26に従いスタートさせる。
- 10-2 スタート・ラインは、スターボートの端にあるスタート信号艇上でオレンジ色旗を掲揚しているポールとボートの端のスタート・アウターマークの間とする。
- 10-3 予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、スタート・エリアを回避しなければならない。
- 10-4 スタート信号の4分以降にスタートする艇は、審問なしに『スタートしなかった(DNS)』と記録される。これは規則A4を変更している。

11. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更する為、レース委員会は、新しいマークを設置し(またはフィニッシュラインを移動し)、実行できれば直ぐに元のマークを撤去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

12. スタート後の短縮又は中止

レース委員会はRRS32.1以外にレースの公正に影響を及ぼす様な、大幅な風向の変化やレース続行が困難な風速の低下があった場合、コースを短縮、又はレースを中止する事がある。

13. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、スターボートにある青色旗を掲揚したレース委員会艇のオレンジ色旗を掲揚しているポールと、ボート端の1マーク(または指示11に規定の新しいマーク)の間とする。

14. タイムリミット

先頭艇がコースを帆走してフィニッシュ後、10分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった(DNF)』として記録される。この項はRRS35、及びA4、A5を変更している。

15. 抗議と救済の要求

- 15-1 抗議及び救済は、大会ホームページのリンクより入手できる所定のフォームに記入のうえ、適切な締切時間内に電子メールにてプロテスト事務局へ提出し、送信のうえプロテスト事務局へ電話連絡しなければならない。当日の電話連絡先は、LINE オープンチャットにて指示する。
- 15-2 各クラスに対しての抗議の切り時間はその日の最終レースに最終艇フィニッシュ後、又はレース委員会が本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方の60分とする。
- 15-3 審問の当事者であるか、又は証人として名前が挙げられている競技者に、審問の事を知らせる為、抗議の切り時刻15分以内にLINEオープンチャットにて展開する。審問はプロテスト委員会にてほぼ受付順に行う。
- 15-4 レース委員会またはプロテスト委員会またはテクニカル委員会による規則 61.1(b)に基づく競技者への抗議の通告は、抗議締め切り時刻までに公式掲示板に提示される。これは規則 61.1(b)を変更している。
- 15-5 クラス規則 指示10-3, 12, 17-1, 17-3及び18の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。これはRRS60.1(a)を変更している。これらの違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会が決めた場合には、失格より軽減することができる。(DPIの略語を用いて記録される)
- 15-6 レースを行う最終日では、審問の再開の要求は、次の時間内に提出されなければならない。
(a) 要求している当事者が当日に判決を通告された後20分以内。
これはRRS66を変更している。
- 15-7 レースを行う最終日では、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決を通告されてから30分以内に提出されなければならない。これはRRS62.2を変更している。

16. 得点

- 16-1 本大会が成立するには、2レースを完了することが必要である。
- 16-2 艇のシリーズ得点は、完了したレースが5レース以下の場合、全レースの合計得点とし、6レース完了した場合最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

17. 安全規定[DP]

- 17-1 出艇申告と帰着申告は、LINEオープンチャットで行わなければならない。
- 17-2 競技者は海上において、一時的な脱着/調整の間を除き、適正な浮力を有する(安全規定を満たす)ライフジャケットを着用しなければならない。これは、RRS40を変更するものである。
- 17-3 リタイヤしようとするヨットは出来るだけ速やかに運営艇にその旨を申告し、レース海面を離れなければならない。
- 17-4 レース/プロテスト委員会は競技者や艇が危険な状態と判断した場合は、救助及び必要な処置を行う場合がある。この救助及び処置は、艇による救済の要求の根拠とならない。これはRRS62.1(a)を変更している。

18. 装備と計測のチェック[DP]

艇または装備は、各クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。

19. 賞

- 19-1 国際470級 中部水域の上位5チームに2020年11月に葉山で予定される全日本470級ヨット選手権大会への参加資格が与えられる。
- 19-2 国際スナイブ級 中部水域の上位7チームに2020年11月に和歌山で予定されている第73回全日本スナイブ級ヨット選手権大会に推薦する。

20. 責任の否認

このレガッタの競技者は自分の責任で参加する。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体的傷害若しくは死亡によるいかなる責任も負担しない

21. その他

- 21-1 本大会(レース公示、帆走指示書、そのほかレース)に関する事項について、疑義が生じた場合はレース委員会が裁量するものとする。
- 21-2 本大会の競技者の肖像権は主催団体に帰属する。
- 21-3 大会期間中の映像、写真及び成績は、主催団体のHPなどに掲載される場合がある。
- 21-4 本大会は 中部470級ヨット選手権大会および中部スナイブ級ヨット選手権大会を併催する。